



平成27年 6月29日
杉並区立杉並第四小学校
校長 高橋 浩平
養護教諭 橋 詰 菜々

もうすぐ7月になります。毎日不安定な天気が続いています。梅雨明け直後は、晴れて暑い日が続くので、熱中症や紫外線に注意が必要です。お子さんの体調の変化に気を付けて、残りの1学期を無理なく元気に過ごせるよう、ご家庭でのサポートをよろしくお願い致します。



おまたせしました！ けんこうカードをお返しします！

定期健康診断が終了しました。カードを返却しますので、結果をお子さんと一緒にご確認の上、成長曲線に点を打って、1～5年生は表紙（6年生は内側）に押印して学校へお戻しください。

また、「うちの子、背が低いかも・・・？」と感じている保護者の方へご連絡があります。子供の身長が低いことには様々な理由が考えられます。多くは遺伝性なので、医学的に問題ありません。しかし、まれに病気が原因で背が低くなっている場合があります。思春期を過ぎると身長の伸びが止まり、治療の効果が表れにくくなる可能性が高くなるため、思春期前の小学生の間に発見することが大切です。成長曲線の-2SDの曲線を下回る場合は、病気が原因である可能性があります。ご心配な方は、適切な治療を受けるためにも保健室までご相談ください。専門の病院や資料をご案内することができます。

★ 6・7月の保健行事 ★

6月30日 移動教室前日健診（5年）
14:00～ 保健室
※体温表と体育着をお持ちください。



7月 2日 小児生活習慣病予防検診 事前説明会
（4年保護者・他学年該当保護者）
15:00～15:15 図書室

★ 9月の保健行事 ★

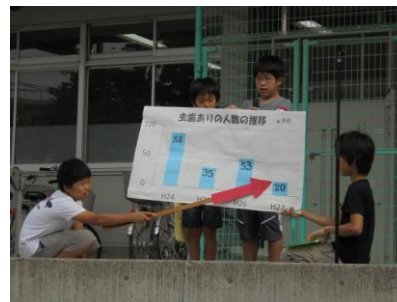
9月 3日 小児生活習慣病予防検診
（4年・他学年該当児童）
10:30～ 家庭科室

9月 4日 発育測定（5・6年）
9月 8日 発育測定（3・4年）
9月 9日 発育測定（1・2年）
※発育測定は、体育着で行います。
※髪の毛を頭頂部で結ばないよう
お願いします。

9月 11日 色覚検査（2年希望者）

はみがき週間がおわりました

毎日給食後には歯みがきをする杉四小ですが、昨年の歯みがき週間の参加率は、全校平均72.7%でした。今年は、今まで以上に参加してくれているといいな、と思っています。ご家庭には、7月の上旬ぐらいに『はみがきカード』をお返ししますので、お子さんの頑張りをご確認ください。そして、是非、子供達のために温かいメッセージをいただけたら、これからの歯みがきの励みになると思いますので、よろしくお願いします。

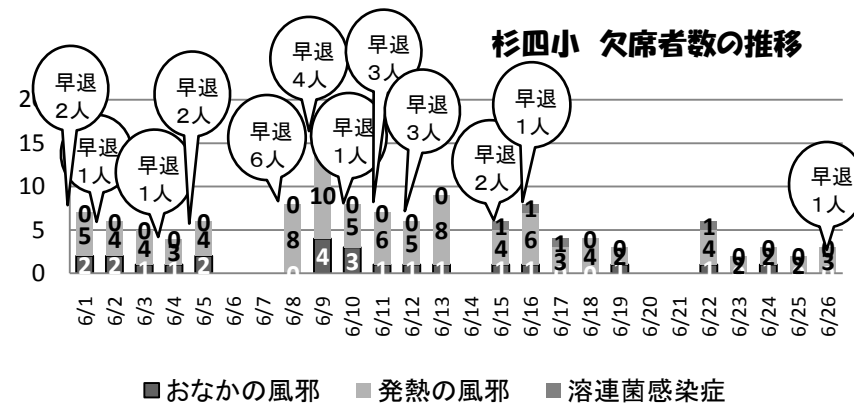


3年生の歯磨き指導を実施しました！

3年生は、6月11日に歯科衛生士さんが歯磨き指導をしてくださいました。主な内容は、虫歯の原因（歯垢）・虫歯のでき方・歯ブラシの持ち方（鉛筆持ち）・おやつについてでした。



杉四小の感染症情報をお伝えします



5月の下旬から、体調不良の児童が増えてきて、一時期風邪が流行しましたが、今は落ち着き取り戻しています。ご心配をおかけしましたが、おかげさまで無事に1学期を終わられそうです。ご家庭での健康管理、ありがとうございました。

これだけは押さえておきたい 夏の感染症

咽頭結膜熱（プール熱）

出席停止

●症 状

- ・38～39度ほどの発熱。
- ・のどの痛み。
- ・結膜炎。

●予 防

- ・手洗いをする。
- ・ほかの人とタオルは共有しない。

●対処法

- ・自然に治るが、症状が強いときは、医療機関に相談する。



手足口病

●症 状

- ・口や手足に水ぶくれ状の発疹。

●予 防

- ・手洗いをする。
- ・ほかの人とタオルを共有しない。
- ・回復後2～4週間は、まだウイルスが残っているので、便などの処理には注意する。

●対処法

- ・自然に治るが、高熱や吐き気、強い頭痛が見られるときなどは、医療機関に相談する。



伝染性軟属腫（水いぼ）

●症 状

- ・水っぼい光沢のあるいぼ。

●予 防

- ・肌を保湿し、コンディションを整える。
- ・感染者が近くにいる場合は、入浴やタオルは別にし、肌の接触を避ける。

●対処法

- ・数が少ないうちに、専用器具を使って摘み取る方法がある。



アタマジラミ

●症 状

- ・激しい頭のかゆみ。

●予 防

- ・タオルやくし、帽子など、頭にふれる物をほかの人と共有しない。

●対処法

- ・シラミ駆除用のパウダー剤やシャンプーを使用する。
- ・クシなどを使って駆除する。



ヘルパンギーナ

●症 状

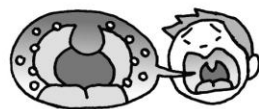
- ・38～40度の発熱。
- ・のどの痛み。
- ・食欲不振や全身のだるさ、頭痛。

●予 防

- ・手洗いをしっかりする。
- ・洗濯物は日光で乾かす。

●対処法

- ・特別な治療法はない。医療機関では症状を軽くする方法がとられる。



流行性角結膜炎（はやり目）

出席停止

●症 状

- ・結膜が充血する。
- ・目がかゆくなる。
- ・目がゴロゴロする。
- ・涙が多くなる。

●予 防

- ・ほかの人とタオルを共有しない。

●対処法

- ・医療機関では症状を軽くする方法がとられる。



※出席の可否はお医者さんに相談してください。

伝染性紅斑（リンゴ病）

●症 状

- ・軽いかぜ症状。
- ・ほほ、腕、足にあかい発疹。

●予 防

- ・あかい発疹が出てきたころには、感染力はなくなっているため、とくに感染を予防する必要はない。

●対処法

- ・自然に治るが、妊婦が感染すると胎児に影響を与える場合があるので注意する。



感染症にかかっているときのプールへの対応

日本臨床皮膚科医会と日本小児皮膚科学会は、次の感染症にかかっている場合のプール対応について、このように示しています。

肌の状態が気になるときや、判断に迷うとき、参考にしてください。

伝染性膿痂疹（とびひ）	かきむしったところの滲出液、水疱内容などで次々にうつります。プールの水ではうつりませんが、触れることで症状を悪化させたり、ほかの人にうつす恐れがありますので、プールや水泳は治るまで禁止してください。
伝染性軟属腫（みずいぼ）	プールの水ではうつりませんので、プールに入っても構いません。ただし、タオル、浮輪、ビート板などを介してうつることがありますから、これらを共用することはできるだけ避けてください。プールの後はシャワーで肌をきれいに洗いましょう。
アタマジラミ	アタマジラミが感染しても、治療を始めればプールに入っても構いません。ただし、タオル、ヘアブラシ、水泳帽などの貸し借りはやめましょう。 ※流行した時には、プールに入れないこともあります。
疥 癬	肌と肌の接触でうつります。ごくまれに衣類、寝床、タオルなどを介してうつることがありますが、プールの水ではうつることはありませんので、治療を始めればプールに入っても構いません。ただし、角化型疥癬の場合は、通常の疥癬と比べ非常に感染力が強いので、外出自体を控える必要があります。

〈出典〉日本臨床皮膚科医会・日本小児皮膚科学会、学校感染症 第三種 その他の感染症：皮膚の学校感染症とプールに関する統一見解。平成25年5月。